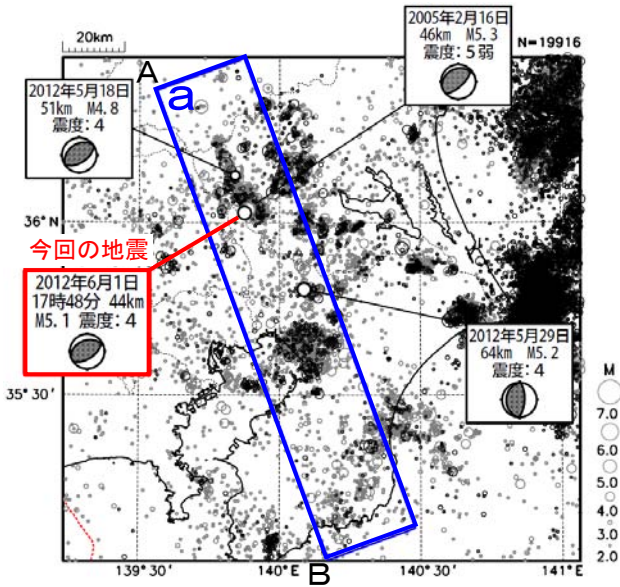


# 6月1日 千葉県北西部の地震

情報発表に用いた震央地名は〔茨城県南部〕である。

震央分布図（1997年10月1日～2012年6月5日、  
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$ ）

2011年3月以降の地震を濃く表示

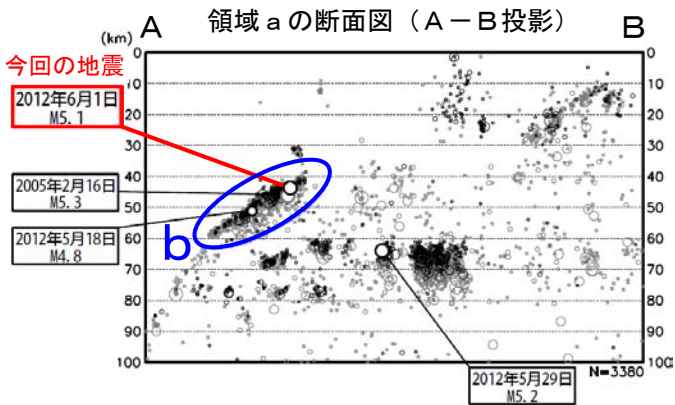
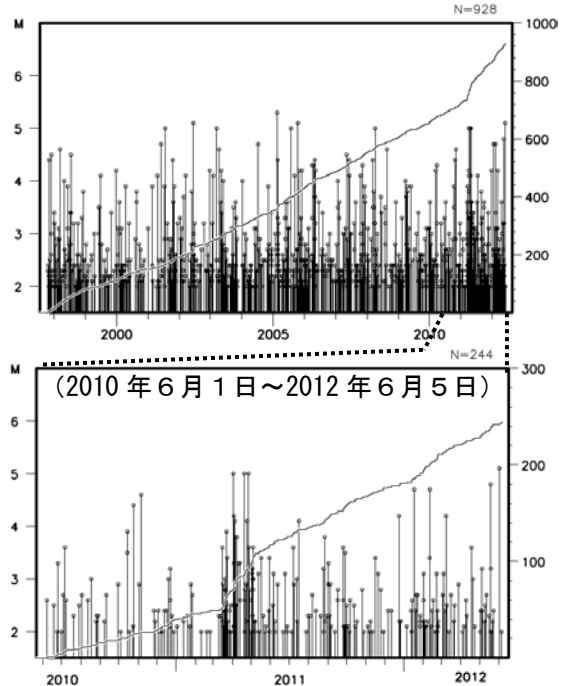


2012年6月1日17時48分に千葉県北西部の深さ44kmでM5.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震であった。

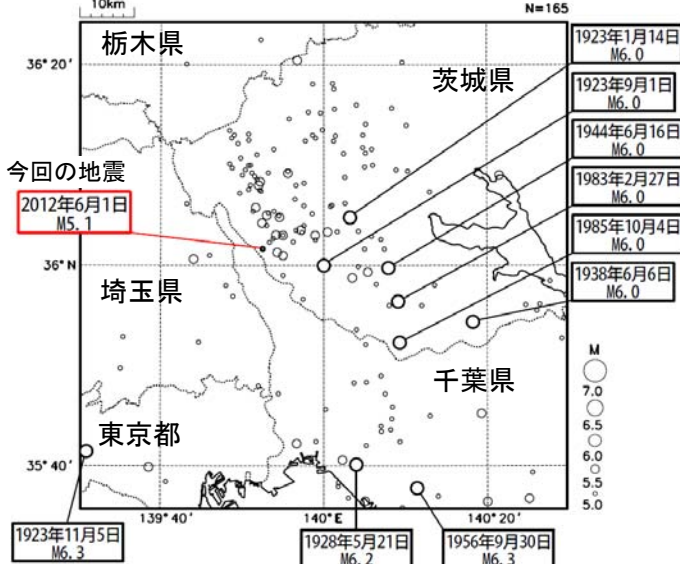
今回の地震の震源付近（領域b）は、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」発生以降、地震活動が以前より活発になっている領域である。

今回の地震の震源付近（領域b）の1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源近傍で2005年2月16日にM5.3の地震（最大震度5弱）が発生している。また、今回の地震の14日前には、同じクラス内でM4.8の地震（最大震度4）が発生している。

領域b内のM-T図および回数積算図

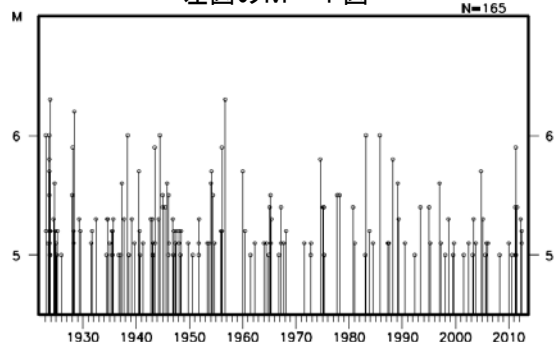


震央分布図（1923年1月1日～2012年6月5日、  
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$ ）



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（左図）は、M5.0以上の地震が定常的に発生している地域である。

左図のM-T図

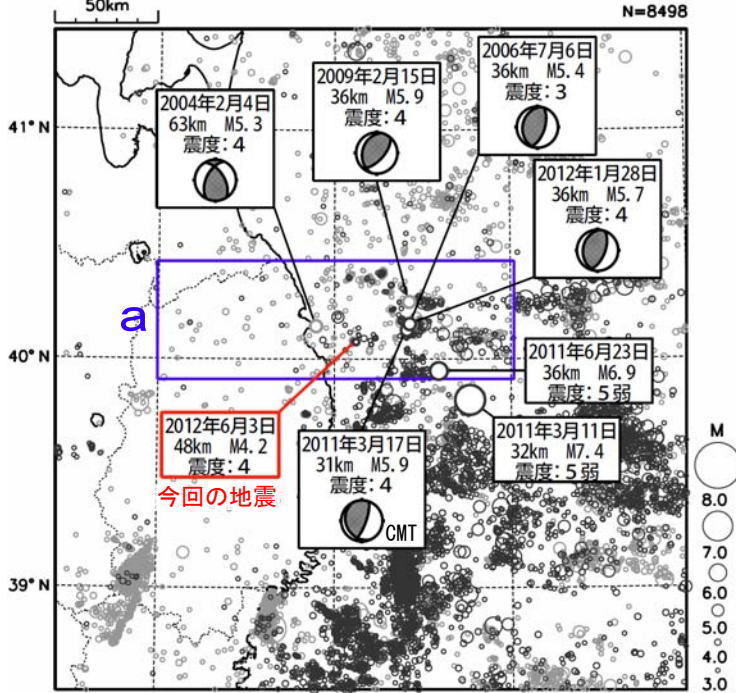


# 6月3日 岩手県沖の地震

震央分布図\*

(1997年10月1日~2012年6月6日、深さ0~100km、 $M \geq 3.0$ )

東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を濃く表示

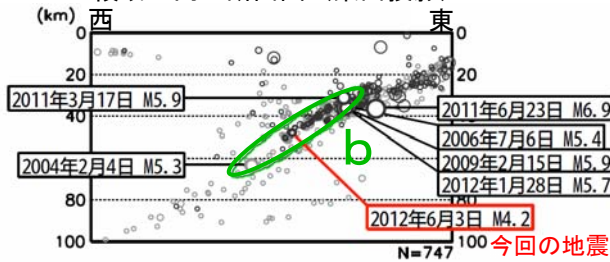


2012年6月3日13時07分に岩手県沖の深さ48kmでM4.2の地震(最大震度4)が発生した。この地震は太平洋プレートと陸のプレートの境界付近で発生した。

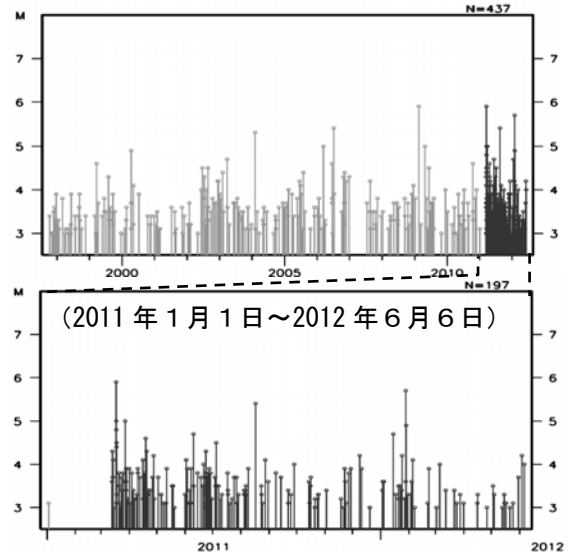
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が時々発生している。

領域bでは、2011年3月11日の「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生後、今回の地震の震源近傍及びより浅い部分で地震活動の活発化が見られる。

領域a内の断面図(東西投影)

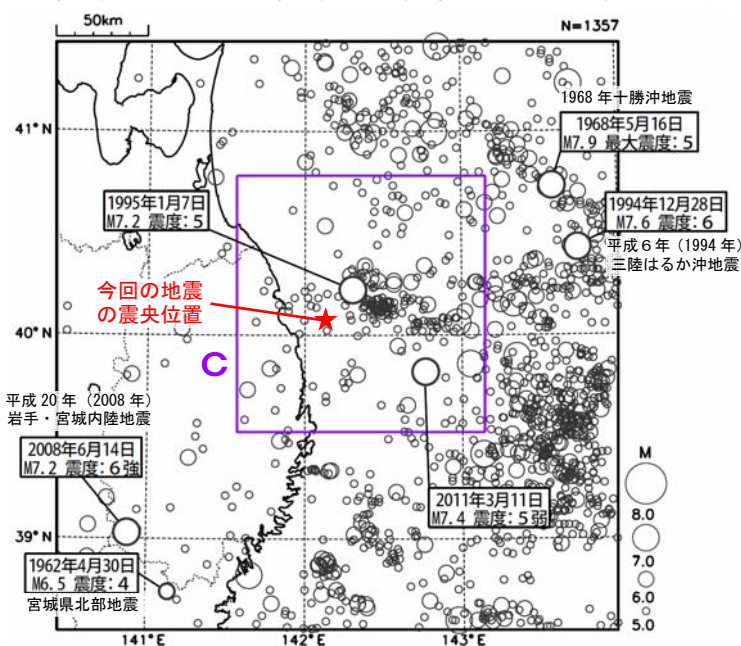


領域b内のM-T図



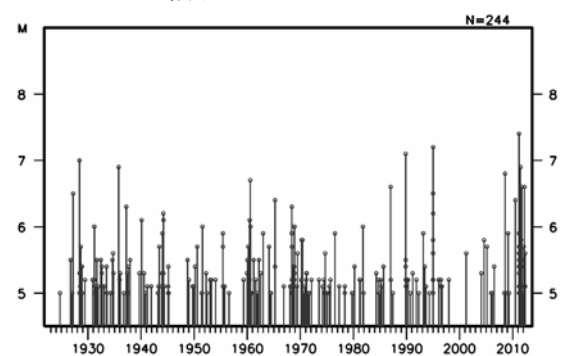
震央分布図

(1923年1月1日~2012年6月6日、深さ0~150km、 $M \geq 5.0$ )



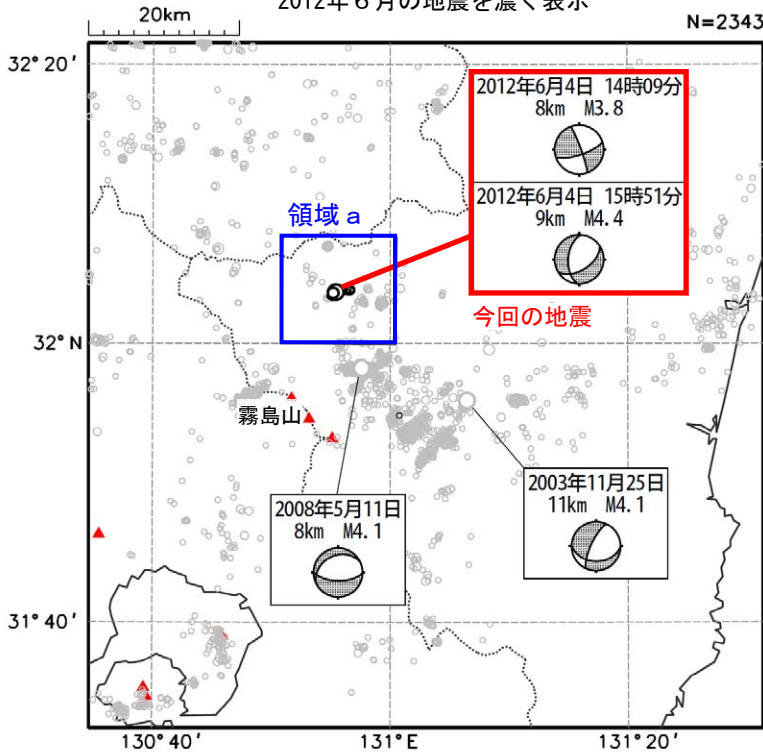
1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では度々M7クラスの地震が発生している。

領域c内のM-T図



# 6月4日 宮崎県南部山沿いの地震

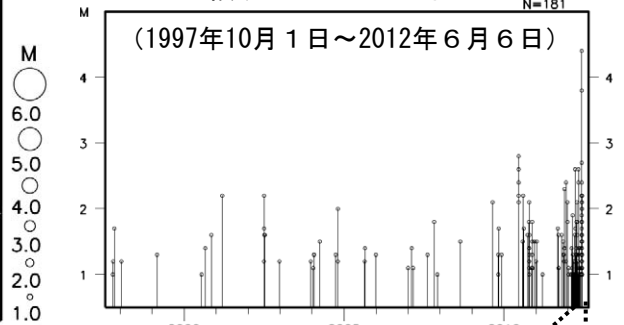
震央分布図 (1997年10月1日~2012年6月6日、  
M $\geq$ 1.0、深さ0~20km)  
2012年6月の地震を濃く表示



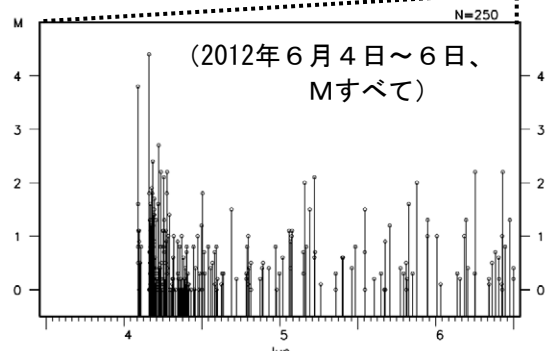
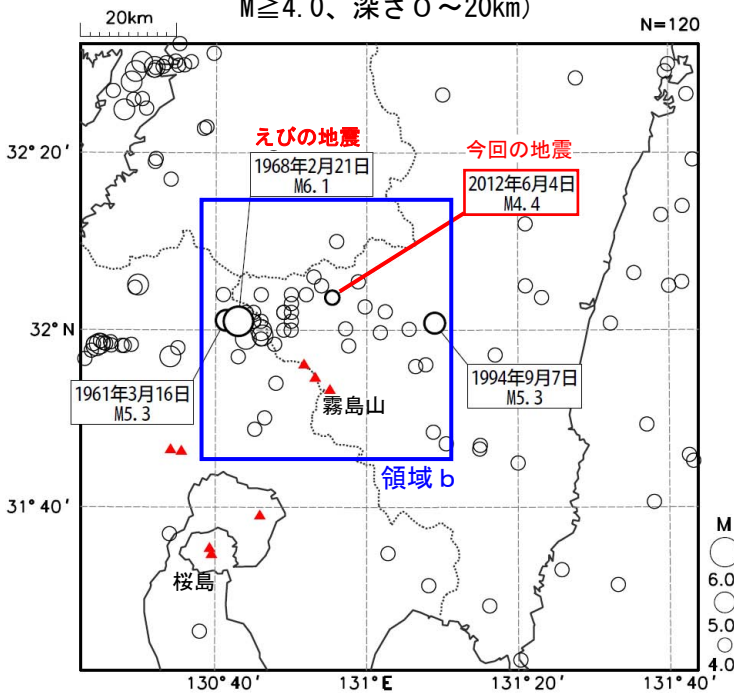
2012年6月4日15時51分に宮崎県南部山沿いの深さ9kmでM4.4 (最大震度4) の地震が発生した。また、この地震の約2時間前の14時09分には、ほぼ同じ場所でM3.8の地震 (最大震度3) が発生していた。これらの地震は地殻内で発生した地震で、発震機構はいずれも西北西-東南東方向に張力軸を持つ型であった。7日24時現在、最大震度1を観測した余震を4回観測している (速報値)。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域a) では、M3.0以上の地震は発生していなかった。

領域a内のM-T図

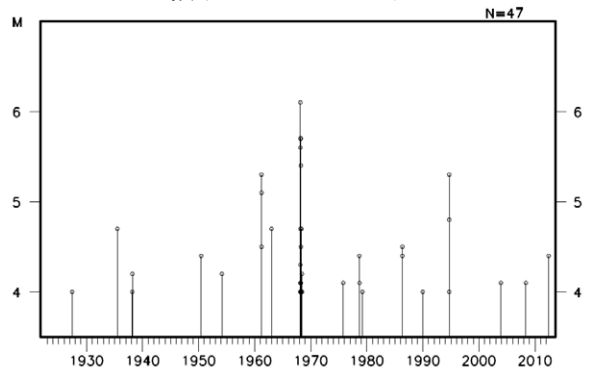


震央分布図 (1923年1月1日~2012年6月6日、  
M $\geq$ 4.0、深さ0~20km)



1923年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生している。そのうち1968年2月21日に発生したM6.1の地震 (えびの地震、最大震度5) では、死者3人、住家全壊368棟などの被害が生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図

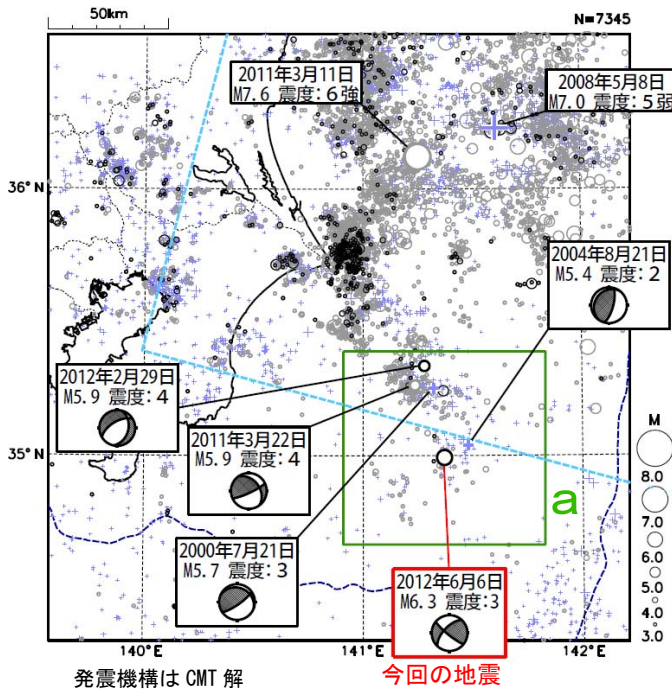


# 6月6日 千葉県東方沖の地震

震央分布図※

(1997年10月1日～2012年6月6日、深さ0～150km、 $M \geq 3.0$ )

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を○(薄)、2012年1月以降に発生した地震を○(濃)で表示



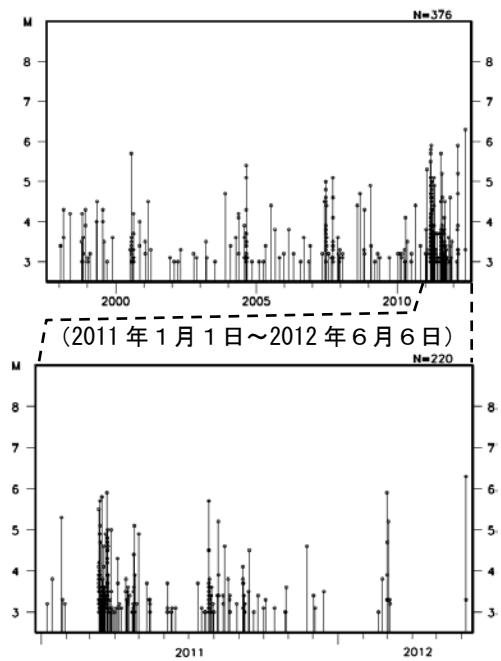
発震機構は CMT 解  
 --- 東北地方太平洋沖地震の余震域

※ 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

2012年6月6日04時31分に千葉県東方沖でM6.3の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構(CMT解)は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

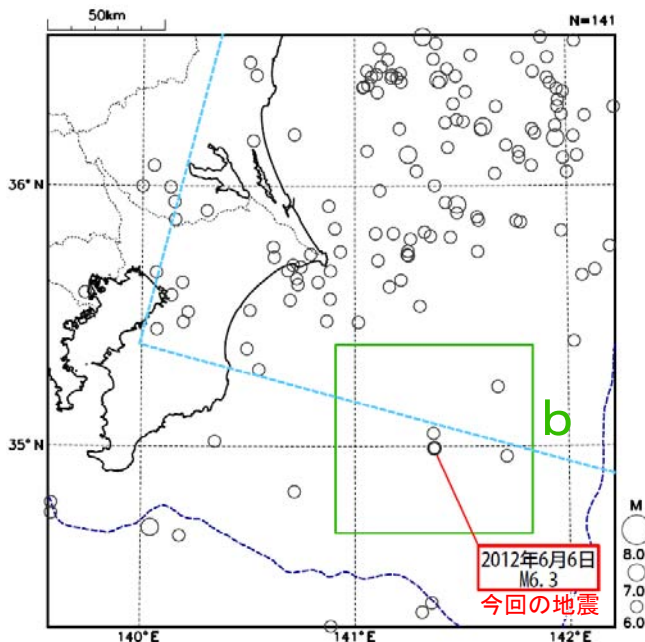
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域a)では、M5.0以上の地震が時々発生している。今回の地震は「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震域の外側で発生したが、今回の地震の震央付近でも「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生後に地震活動の活発化が見られる。

領域a内のM-T図※



震央分布図

(1923年1月1日～2012年6月6日、深さ0～150km、 $M \geq 6.0$ )



1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M6.0以上の地震が今回の地震も含めて4回発生している。

領域b内のM-T図

